



忠愛のアマビエ

編集・発行/ 三重県障害者社会参加推進センター 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 TEL (059) 232-6803 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp
公益社団法人 三重県障害者団体連合会 三重県身体障害者総合福祉センター内 FAX (059) 231-7182 HP http://www.mie-kensinren.or.jp

令和4年度 三重県障がい者芸術文化祭

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、来場の際は氏名、連絡先を記入していただきます。

当日は混雑が予想されますので、事前の申し込みをおすすめします。

今年度のステージ発表は会場で行います。ご参加お待ちしております。

◆開催日時

令和4年12月23日(金) 10時～16時

12月24日(土) 10時～13時

(表彰式13時から)

※リハーサル12月22日(木)

◆会場

四日市市文化会館(第1、3、4展示室・第2ホール)

〒510-0075 四日市市安島2丁目5-3

ステージ発表：第2ホール

作品展：第1、3、4展示室

◆応募資格

三重県内に住所が有る障がいのある方

◆募集内容

(1) ステージ発表(グループ) *マスク着用

- ・歌唱、楽器演奏、演劇、踊り・ダンス等
- ・グループ出場者の半数以上が障がいのある方
- ・出場は、準備等を含め1グループ30分以内

(2) 作品展(個人作品は各賞を選考)

- ・作品は1人1点(未発表の作品に限る)
- ・絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸(版画・彫刻含む) 貼り絵・CG、俳句
- ・作品規格は募集パンフレット参照
- ・特別支援学校コーナー
- ・共同作品コーナー

◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込む。

※応募用紙はホームページからもダウンロードできます。



◆応募期間(申込書を受け付ける期間)

令和4年9月1日(木)～9月30日(金)(必着)

◆作品の搬入・搬出

搬入：令和4年12月20日(火) 9時30分～16時

搬出：令和4年12月24日(土) 14時～16時30分

新型コロナウイルス感染症対策の密を避けるため、事務局で搬入・搬出時間を指定させていただきます。当日、搬入・搬出できない方は事務局へお問合せください。

◆事務局(送付先・お問合せ先)

三重県障がい者芸術文化活動支援センター内

三重県障がい者芸術文化祭実行委員会

(公益社団法人 三重県障害者団体連合会)

〒514-0113 津市一身田大古曾670-2

TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182

E-mail: info@mie-asc.jp

サブタイトルも同時募集

(障がいの有無は問いません。)

応募資格：三重県内に住所のある方

募集内容：障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。作品・発表者募集とは別に1人3点まで応募できます。

応募方法：募集パンフレットの応募用紙、又ははがき等にサブタイトル、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方は、表彰式で表彰し、記念品を贈呈します。

令和元年度

輝け みんなの令和 つなげよう みんなの絆

令和2年度

笑顔あふれる未来へ 心動かす芸術の魅力

令和3年度

つくろう つなごう 君の笑顔と文化祭

芸術文化の花 咲いわり
美ら島おきなわ文化祭2022

第37回国民文化祭
第22回全国障害者芸術・文化祭

令和4年10月22日(土)～11月27日(日)

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

長引くコロナ禍の中、障がい者福祉にご尽力賜り、また、当連合会へのご支援ありがとうございます。

障がい者施策において、昨年度は、障害者差別解消法改正法の成立や改正バリアフリー法の施行等大きな進展がありました。

三重県でも、「みえ障がい者共生社会づくりプラン2021年度～2023年度」が策定され、障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざして、施策を推進しています。

当連合会では、こういった国や県の施策動向を把握しながら、県内に居住している障がい者及びその家族の福祉増進を図り、障がい者が地域社会に参画して、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて各事業を実施しています。

今年度は、感染防止対策を図りつつ事業を実施し、相互の親睦と交流を深めていきたいと思います。新型コロナウイルスが一日も早く終息して、平常の各事業が実施できるよう願っています。

三重県障がい者芸術文化活動支援センターでは研修会や巡回展等を開催します。

また、三重県障害者団体連合会のホームページを開設し、行事予定を掲載するとともに、市町団体の紹介ページも設けて会員確保に向けPRを行っています。

これからも障がい者の自立と社会参加の促進、そして共生社会の実現に向け、ボランティアなど県民の方々の協力も得ながら活動していきますので、今後とも各事業への参加協力のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長 世古 佳清

事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県知的障害者育成会

新型コロナウイルス感染症に思う

この度の『新型コロナウイルス感染症』については、知的障害の方々を始めとした障害者への視点が抜けているのではないかと常々思っていましたので、今後同様の未知の病等への対応を確立していただくためにここに思いを綴らせていただきます。

突然に沸き起こった『新型コロナウイルス感染症』

は原因となるコロナ株が次々と変異してワクチンや治療薬の開発が間に合わない、新薬の認証制度は日本のシステムでは時間がかかり過ぎて覚束ない状況で、ワクチン接種も外国産に頼るしかないという寒々しい状況を生み出しました。

感染者への対応も初期の段階では未知のものだからとはいえ、遺族にとっては耐え難い「会えない」「亡くなったにも関わらず、お別れもないままにお骨になって戻ってくる」という悲しい事態を表すことになってしまいました。

感染は人を選ばず、その中には知的障害の方々も多く含まれたと思っています。自ら感染予防などできるはずもない方々までを蹂躪していきました。しかも、軽度の感染者はホテルでの療養観察ということにもそぐわないため、看護する場などあの混乱の中整えられるわけもなく、関わった障害福祉事業所の奮闘で乗り切るしかないと言っても小さな法人や通所系事業所では対応もできずにてんやわんやで乗り切ってきました。感染によって命を落とされた方も少なからずおられたと推察します。一人住まいで一般就労できる方やご家族と生活している方は、どんな状況におかれていたのか?想像するだけで恐ろしくなってきます。

ワクチン接種でも大きな法人であれば嘱託医がいて接種の機会が整えられることもあったでしょうが、大方はご家族や支援者頼みであったでしょう。

これからも色々な感染症や様々な病気が出てくると思われます。

今後に向けて、これらの詳しい検証なくして事後の事態対応策の確立はできないと思っています。

一部の人の奮闘で乗り切れるには、少子高齢化社会は崩壊してしまうのではないかと危惧しています。

理事長 高鶴かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 FAX 059-225-3935

E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県精神保健福祉会

令和3年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止への対応のため、3密の回避を余儀なくされ、様々な行事が縮小ないし中止となりました。

各種研修を開催し、また精神保健福祉に関する全国ないし東海地区での研修に参加し精神障害者の偏見をなくすための啓発啓蒙の活動を行ってきました。

さんかれんは前年度に継続し令和4年度の事業として

- ①第45回三重県精神保健福祉研修会（甲州・東海ブロック家族会精神保健福祉促進研修会を併設）を11月に四日市市で開催し、多くの地域の皆さんへ精神障がいに対する正しい知識の普及を図るとともに、精神障がいを持つ当事者・家族の方と交流する機会を設けることで、当事者の方々の持っている魅力やパワーを肌で感じていただくことを目的に予定しております。
- ②住居サポート事業の活動を行い、住宅保証人受託増により精神障がい者の生活の質向上に貢献しています。また、家族による家族相談、家族同士のサロンによって家族が元気に当事者を見守り支えることができ、当事者支援の一助としております。
- ③啓発広報資料「あゆみ」の配布によって、地道な家族会活動の周知を図るとともに、広く県民の多くの目に触れ、「精神障がい」について「知っていただく」ことを取り組みます。
- ④県庁における就労支援モデル事業を予定しています。等を実施することで精神障がい者に対する誤解・偏見および三障害間の格差の是正に積極的に取り組みます。

精神障害者が、地域で安全で安心して社会参加できる環境の促進を図るうえで精神障害者に対する交通運賃を身体障害者、知的障害者と同様に割引制度の適用対象にすることを東海地区家族会連合会と協力しJR等へ要望活動を継続していきます。

医療費助成については、三重県の近隣県は、身体障害・知的障害と同等の助成を受けておりますが、三重県の精神障害者への医療費助成は1級の通院のみで他県に比して遅れており、2級の医療費助成については各市町が夫々の立場で実施していただいておりますが、三重県29市町中7市町においての助成に留まっています。県への要望に合わせ、各市町の家族会及び家族と協力し県内全域での助成を求める活動を進めます。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）
事務局 ☎・FAX 059-271-5808
E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚障がい者の会員で構成されており、協会本部事業のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センター（以下「支援センター」

と表記）の指定管理者として、支援センターの管理運営を行っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「三重県指針」に基づき、協会本部及び支援センター事業のうち、日程や開催方法などを急遽変更して実施したものもありましたが、楽しみにしていただいていた地域レクリエーション活動のひとつであるグラウンドゴルフ教室のほか、ハイキング、ボランティアとの交流事業などは中止いたしました。

支援センターでは、「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」を設定し、職員をはじめ、視覚障がい者、ボランティアの皆さんに対して、来館自粛の要請も含め段階的に感染防止対策を周知、徹底いたしました。以前は、ほぼ毎日、支援センターを拠点として活動いただいているボランティアの皆さんが集えない日が続きました。大変、ご不便をおかけしました。このようなコロナ禍の中でしたが、令和3年度に設定された支援センター事業の12項目の数値目標は、2項目以外は達成できました。目標内容、目標値、実績値の順に以下のとおりです。

- ① 図書貸出タイトル数
目標81,000タイトル、実績102,133タイトル
- ② 生活訓練参加者数 目標520人、実績583人
- ③ 図書の新規製作編集タイトル数
目標300タイトル、実績307タイトル
- ④ 図書だより発行回数 目標6回、実績12回
- ⑤ 点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数
目標5日、実績6日
- ⑥ 点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数
目標20人、実績15人
- ⑦ 点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数
目標20日、実績20日
- ⑧ 音訳奉仕員養成講座開催日数
目標40日、実績40日
- ⑨ 音訳奉仕員養成講座修了者数
目標20人、実績22人
- ⑩ 奉仕員スキルアップ講習会出席者数
目標330人、実績226人
- ⑪ 県政だより点訳版・録音版発行回数
目標12回、実績12回
- ⑫ みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数
目標7回、実績7回

今後も、このような評価認識のもとで、支援センターの運営に注力してまいります。

一方、協会本部における会員数は、地域生活における高齢化、障害の重度化、情報通信の高度化など

を背景に、会員数の減少や会員であることの意義の低下などが急速に進展しており、中途視覚障害やロービジョンなど、多様な視覚障害の占める割合が年々高くなってきています。視覚障がい者のニーズに的確に対応していく必要性は今までになく高まっており、特に、情報障害を克服することは、今後の日常生活を豊かにするために必須と考えられています。こうしたなか、令和4年5月19日、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立しましたが、今後は、視覚障がい者の情報・コミュニケーションが豊かになり、あらゆる場面での合理的配慮に結びついていくよう、社会へのアピールも重要と考えられます。協会では、10月15日の「国際白杖の日」では、津市内をはじめ、県内数カ所において街頭啓発活動を予定しています。県内視覚障がい者を取り巻く新たな社会環境を十分に認識したうえで、支援センターの運営及び協会本部事業を執行してまいりますので、引き続きご支援等よろしく願います。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
三重県視覚障害者支援センター
〒514-0003 津市桜橋二丁目130番地
☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425
HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

三重県聴覚障害者協会

「一般社団法人三重県聴覚障害者協会」として9年目を迎え、地域の聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながら2021年度の1年間活動を推進してきました。しかし、2年前から新型コロナウイルス感染症の拡大で社会的、経済的影響が世界に広がり、危機の出口が未だに見えていないため、2021年度のろう活動も大きな影響を受けました。夏頃から感染者が増減を繰り返していましたが、行事開催のときには感染対策を万全に行いました。

県内の事業では、2021年10月16日（土）「第74回三重県聴覚障害者福祉大会（いなべ）」、11月22日（月）「日帰り旅行（滋賀県）」、各部事業を大過なく終えることができました。しかし、全国や東海規模のイベントのほとんどは中止になりました。2022年2月27日（日）には「みみの日記念第7回手話フェスティバル（亀山市）」を予定していましたが、こちらも残念ながら中止となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、聴覚障害者の中には感染リスクへの不安や、周囲とのコ

ミュニケーション不足による「孤立」に不安を募らせている人も多いと思います。目に見える情報で会員に情報を提供するため、協会では毎週金曜日にYouTube（金曜動画「できるカモン」ちゃんねる）の配信、さらにはZoomでのオンライン講演、講座などに努めてまいりました。金曜動画は文章の説明では伝わらない内容を、みんながわかるように手話言語を使って配信できるようにし、オリジナリティのある素敵な映像も工夫して年56回（4月から3月）掲載できました。

知事の定例記者会見および緊急記者会見については、すべてに手話通訳を設置するよう3団体として県へ要望したにもかかわらず、通訳がついていなかった日がありました。また、運転免許センターでの講習で手話通訳者の拒否があるなど、他にも困難なことや大変な状況があったと思います。私たちに聞こえないことへの保障がまだまだ不足していることを課題として、その情報がない、通訳がついていない問題を解決するよう、要望を出し続けていきます。運転免許センターでは2022年1月28日（金）に初の試みとして手話通訳付きの特例講習会を設けることができました。あらゆる場面に情報保障があるわけではなくバリアがまだまだ多くあります。これからもそのバリアをなくすよう運動し続けます。

当協会の会員数は2020年度の288名より9名減の279名、賛助会員は2020年度の108名より1名減の107名、両方とも2年連続の減少で長期的には減少傾向にあると考えられます。会員の約2人に1人が60歳以上の高齢者という本格的な高齢社会が見込まれています。次世代の主役でもある青年やスポーツ会員の入会を促進するために若者たちの会員拡大対策を考え、魅力のある企画が実施できるように深め、参加者同士の情報共有、会員減少傾向に歯止めをかけるよう努めます。

2022年度は、皆さんの要望に対し県理事会と各部が共に地域協会にも働きかけ、あきらめずに「団結力」を図ってためになるイベント企画を工夫してまいります。スポーツ会員にも、モチベーションの維持のために健康・精神力強化・趣味・コミュニケーションをメインとしてスポーツの魅力に導けるように協力、応援します。

手話カレンダーと手話トイレトペーパーは皆さまのご協力、ご支援のおかげで社会貢献も果たせており、私たちが胸を張れる事業の一つです。本年度も継続します。定期的に発行している当協会の機関紙「みえデフNEWS」はお知らせや、行事等の掲載内

容を工夫します。また、ウェブブログのみえデフBlogや4月から開設したホームページでも新しい情報を掲載、週1回動画を配信し、参加意欲を高めるとともに新たな仲間を増やしていくことを支援していきます。

聴覚障害者対象の社会資源は、まだ少ないのが現状であります。私たちは、地域の聴覚障害者が「安心して暮らせる社会」を目指すために聴こえない人と関係団体が力を出し合い、課題を解決するために、県民とともに取り組んでいきますので引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。

今年度も会費を据え置きで運営することは大変なことであります。その問題を認識しつつ、さらに資質を向上できると確信し、様々な壁に立ち向かい乗り越えていけるようにとがんばってまいります。これからも、さまざまな困難があると思いますが、関係団体の皆さまとともに活動していけるよう、ご指導とご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重喉友会

当会は創立67年目になり、現在会員数は60名です。喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。発声教室で訓練をして日常会話が出来るようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

この他、健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により各病院での発声教室は休講となっています。

新規の教室として県身体障害者総合福祉センターで土曜日（月2回随時）に開講しています。早く感染拡大が収束して、各病院とも利用可能になり、例年のように活発な活動が出来るように全会員が願っています。

◆発声教室

・中勢地区

三重県身体障害者総合福祉センター 大研修室
毎月2回土曜日（随時） 14時～15時30分

※会員の方は塚本迄連絡下さい。

（☎&FAX 059-261-5257）



県内の各病院の使用が許可されるまで発声教室は休講中です。

・北勢地区

市立四日市病院1階 11会議室

第一水曜日 13時～15時

・中勢地区

三重大学附属病院南館12階 三医会ホール

第三木曜日 10時～12時

三重県身体障害者福祉センター 大研修室

土曜日（毎月2回随時） 14時～15時30分

・南勢地区

伊勢赤十字病院1階 山田ホール

第二木曜日 10時～12時

・東紀州地区（偶数月）

尾鷲総合病院1階 母親教室

第四木曜日 10時30分～12時

◆研修会

・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月中旬に三日間行われ一般会員の方も参加できます。

・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会（発声教室、研修会）今年中止しました。毎年春に三重大学附属病院で開催されます。

発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行 今年中止しました。

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール（カラオケ大会）を行います。

◆出前授業 未定

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にごがん体験者としての講演をしています。

◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257（塚本明雄）

Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

日本オストミー協会三重県支部

日頃はオストメイトの福祉とQOL（生活の質）の向上にご支援・ご協力を戴き御礼申し上げます。

令和2年度に引き続いて、令和3年度も新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大のため、計画し

たすべての行事を中止しました。

今年度は次の行事を予定していますが、COVID-19の感染状況を見極めて開催の可否を決定していきます。

開催の場合はその都度開催案内等でお知らせします。

「三密」を実践してCOVID-19を予防するとともに、暑さが厳しくなるこれからはストーマ周囲の炎症等、ストーマケアに充分にご注意願います。また、適度な運動や散歩等で体力を維持して「健康寿命を延ばす!!」を実践願います。

【令和4年度の支部行事】

- ・6月4日 「支部総会・春の研修会」

会場：アスト津

2年ぶりに開催しました。

講師…三重大学医学部附属病院

WOCナース 奥川彩子様

「災害が起きた時どうする？」

「自分でストーマケアができなくなった時どうする？」

- ・7月 「一泊研修会」…中止（会食を伴うため）
- ・10月 「秋の研修会」 会場：アスト津 13時30分～…COVID-19感染状況等で開催可否検討。
- ・11月 「一泊研修会」 会場：鳥羽市内ホテル予定…COVID-19感染状況等で開催可否検討。
- ・令和5年3月 「新入会員研修会」 会場：アスト津…新入会員の有無、COVID-19感染状況等で開催可否を決定。

オストメイトは、ご家族のご協力があって始めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

※注 (1)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。

(2)ストーマ…腹壁に造設した排泄口のこと。消化管ストーマ（人工肛門）と尿路ストーマ（人工膀胱）があります。

(3)WOCナース…皮膚・排泄ケア認定看護師
連絡先：支部長 ☎ 059-346-2589（溝川紳一）
事務局 ☎ 059-226-5201（在間敏明）

三重県脊髄損傷者協会

協会では同じ障害を持つ当事者がサポートをおこなうピアカウンセリングを中心に活動しています。コロナウイルス感染症で外出を控えた影響で病んでしまう方が増えました。

電話で対応させていただきましたが、人と話をするだけで安心することがよくわかりました。コロナウイルスの感染が少なくなりましたので外出していただ

き気持ちを新たにしていきたいと思います。

今回のコロナウイルス感染症で、人と人との「ふれあい」がいかに大切であるか思い知らされました。

脊髄損傷の情報は「全国脊髄損傷者連合会」をインターネットで検索してください。

脊髄損傷の相談はこちらまでご連絡ください。

三重県脊髄損傷者協会 松田 ☎ 059-386-9733

三重県肢体不自由児父母の会連合会

◎令和3年度主な事業実績

- ①体験学習交流会開催事業：バス旅行

- ・11月7日（日）：鳥羽水族館、ヴィソン多気
- ・リフト付きバス2台、38名参加

- ②東海北陸ブロック指導者育成セミナー、会長会議

- ・11月3日（土）～4日（日）：名古屋市

◎令和4年度主な事業計画

- (1)東海北陸ブロック愛知大会

- ・期 日：9月10日（土）
- ・場 所：豊橋市



- ・テーマ：住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!

- (2)体験学習交流会開催事業：バス旅行

- ・期 日：9月11日（日）
- ・場 所：豊橋市のんほいパーク

- (3)県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日：コロナウイルス感染拡大防止のため未定
- ・場 所：鳥羽市内
- ・テーマ：「大規模災害時の対応（福島に学ぶ）」

☆コロナウイルス感染拡大防止の中、11月の減少をうけ2年ぶりにバス旅行が開催できたことは、ラッキーでした。また、利用している生活介護事業施設などに感染が殆どなく通常通り登所でき、保護者や子ども達にとって良かったです。

今年度は、コロナが終息し事業計画が実施できることを願っています。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・Fax 059-333-0005

三重県重症心身障がい児(者)を守る会

季節は早くも6月に入り、コロナウイルス蔓延はワクチン接種によりようやく先が見えてまいりました。あっというまの2年半でしたが、もう少して正常に戻ると、希望的に思っています。

施設入所の子ども達への面会も制限され、月2回

約15分程度の窓越し面会も2年半と続いており、そろそろこの状態がいつ解放されるかです。

さて、私達三重県守る会会員活動はストップして例外なく自宅ですべてしており、たまのスーパーでの日用品買い物も消毒、会話、密に注意しながら過ごしておりますが、守る会本部では、こんな状況にかかわらず、厚労省、文科省、国交省に障がい者施策に於ける提言、要望を行っております。特に厚労省に於いては審議委員が入っており、予算等の審議にも関わりを持っています。守る会の歴史は半世紀にも及び幾多の諸先輩が障がいを持った自分の子どもの為立ち上がり、世の中にそして時の政府に障がいを持った子どもが居ることを訴えて来ました。今では、差別のない世の中になりつつありますが、それでも未だに残っております。

障がい児者は、どんなに医療が発達しても必ず生まれて来ます。その子達のためにも世の中と政府に対し訴えて行かなければならないと守る会は考えています。

「最も弱いものをひとりももれなく守る」が私達守る会の原則です。

この運動を頑張ってきた親御さんも高齢になりました。若い人も徐々に育って来ましたが、まだまだ会員数が足りません。皆さんにもご協力お願いします。

会長 山本静雄

☎・FAX 0596-23-0216

三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

○疾患別相談(毎週火・木曜10時~16時)

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

○地域難病相談会(時間は全て13時~15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料

※新型コロナウイルスの状況によっては変更や中止をさせていただく可能性がありますので今年度は事前予約をお願いします。

7月3日(日) 鈴鹿地域難病相談会 三重県鈴鹿庁舎

9月4日(日) 伊賀地域難病相談会 三重県伊賀庁舎

10月10日(月)・(祝) 桑名地域難病相談会

くわなメディアライブ

11月6日(日) 熊野地域難病相談会 三重県熊野庁舎

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時~16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎ 059-223-5045)

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県知的障害者福祉協会

平素は、障害者社会参加促進事業を通じ、当協会の事業・活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染が始まってから2年が経過しました。

昨年は県下で初の会員である障害者支援施設でクラスターが確認され協会として当該施設への職員派遣を実施してきました。その後もいくつかの事業所でクラスターの発生はありましたが、各法人、事業所の努力により派遣要請には至っていない状況にあります。

しかし、この2年間会員施設・事業所での感染症の発生は続いており、その個所数は半数を超えています。

こうした事態とコロナ対策への支援の一環として、当協会ではコロナ発生施設・事業所への会費免除の取組みを行っております。

また、サービス利用者の交流事業はほとんど開催することが叶わなかった1年間でしたが、今年度は十分な感染対策を講じながら可能な限り、リアル開催で実施したいと考えております。

加えて、虐待防止や身体拘束の適正化の義務化に伴い、これらに関する研修等の実施も求められていることから、人材育成も含めた上記に関する研修をリアルタイムで実施していきたいと考えております。

コロナ禍にあって利用者の方々の命と健康を守り、安心のある日常を取り戻すために協会会員をはじめ

行政機関や関係団体の皆さんと連携を図りながら共にこの状況乗り越えていきたいと考えております。

引き続き皆様のご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。

会長 近藤 忠彦
事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重県身体障害者総合福祉センター

指定管理者として、「障害者支援施設」と「身体障害者福祉センターA型」の運営をしています。

障害者支援施設は、15歳から65歳の方で障害者手帳をお持ちか、高次脳機能障害や難病の診断を受けている方が利用できます。それぞれのニーズに合わせ地域生活の実現および社会復帰や就労に向けた支援を行っています。新型コロナウイルス感染症の流行は依然として続いておりますが、医学的リハビリテーションや職業訓練、情報訓練、自動車訓練、外出訓練など、通常通りの支援を提供できるよう十分な感染予防対策を行っています。

身体障害者福祉センターA型は、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、福祉用具や自助具の普及促進、障がい者スポーツの推進などを行っています。

特に、障がい者スポーツの推進につきましては、昨年度は残念ながら「三重とこわか大会」は中止となりましたが、全国障害者スポーツ大会への選手派遣、県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭の開催、障がい者スポーツ指導員の養成及び身障センターにおける定期的な障がい者スポーツ教室の開催を今年度も行っていきます。

行事やイベントがコロナ禍により、中止や延期となることもあります。開催にあたりましては、三重県指針や各競技団体において作成したガイドラインに沿って感染対策を行いながら運営を行います。

※団体競技の車いすバスケットボール、グランドソフトボール、聴覚障がい者バレーボール男女、知的障がい者ソフトボール、知的障がい者フットソフトボール、知的障がい者バスケットボール男女、知的障がい者バレーボール男女、精神障がい者バレーボールの選手を募集しています。未経験の方も大歓迎ですので、スポーツを始めたい方、仲間作りをしたい方は、ぜひお問い合わせください。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155 (代表) FAX 059-231-0356
HP <https://www.mie-reha.jp/>

三重県立特別支援学校長会

平素は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、次々と確認される変異株により、終息の見通しが立たない状況が続いています。そのような中、特別支援学校では感染拡大防止対策を徹底し、「子どもたちの学びを止めないこと」「子どもたちの学びを保障すること」を大前提にした教育活動が求められていると捉えています。そのために、ICTの活用による学びの保障をはじめ、感染防止対策の徹底も含め、最新の知見・対策に基づいた実践・取組を推進していく必要があると考えています。

各特別支援学校・各地域において、「施設・設備の老朽化」「児童生徒数増」「防災上の安全確保」等の課題が存在しています。これらの特別支援学校整備に関わる課題は、短期間で解消できるものではありません。子どもたちにとってより充実した施設・設備、より適した教育環境としていくには、それなりの時間をかける必要があると思われれます。三重県立特別支援学校長会としましては、三重県教育委員会と情報共有・意見交換を行い、保護者や関係者の皆様への丁寧な説明を踏まえた上で取り組んでいきたいと考えています。

三重県立特別支援学校長会は、特別支援学校が直面している「新型コロナウイルス感染症への対応」「特別支援学校の整備」等々といった課題に取り組んでいきます。そして、「三重県教育ビジョン」(三重県・三重県教育委員会)及び「三重県特別支援教育推進基本計画」(三重県教育委員会)を基本に、特別支援教育の理念に立脚し、特別支援教育の更なる充実に努めてまいります。

今後も各関係団体・機関との連携協力のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行い、自立と社会参加に向けた取組を推進していきますので、ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園
☎ 059-322-2558 (坂本 学)

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職へ

の準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。

- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津 3階）

☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）

☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

三重県ボランティア連絡協議会

小暑を控え、いよいよ夏本番を迎える季節になってきました。

平素は当ボランティア連絡協議会の活動にご協力等頂きまして、ありがとうございます。相変わらずのコロナ禍ではありますが、少しでも気持ちの中で恐れながらも前を向く事が出来る様になってきたようにも思います。

昨年は書面議決で行いました代議員会も今年は県社協常務理事 横田様にご出席頂きまして、久しぶりに皆さんの顔を拝見しての開催となりました。今後ゆっくりと、感染対策を取りながらボランティア活動に邁進していきたいと心新たにしました。

当会の研修会事業も昨年計画で終わってしまったのを、改めての計画として取り組んでいます。

今後共、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひします。

会長 川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター

☎ 059-229-6634



三重補助犬普及協会

令和4年度の啓発活動の予定

行動の自由は何人にも保障された基本的人権です。身体障害者補助犬は失われた身体機能を補完するために使用されます。補助犬を同伴することで、社会へのアクセシビリティが損なわれてはなりません。補助犬の同伴拒否がなくなるよう、私たちは学校や市民社会での啓発活動を続けています。

○介助犬を中心とする啓発活動

イオン津ショッピングセンター（8月）

○補助犬全般の啓発活動

障がい者芸術文化祭会場にて（四日市市 12月）

○盲導犬啓発活動

視覚障害者補装具・日常生活用具展示会会場
（津市 令和5年1月）

○補助犬全般の街頭啓発活動

（伊勢市内宮前 令和4年10月・令和5年1月）

○小中学校・高校・市民団体等での出前トークを随時 *私たちの活動を理解し、支援をしていただけるボランティアを募っています。

【お問合せ】協会事務局 ☎ 059-222-8419

E-mail: mie-hojoyoken@pasoya.jp

障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されました

本法は、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資するため、障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策に関し、基本理念を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、当該施策の基本となる事項を定めること等により、当該施策を総合的に推進するため、令和4年5月25日に施行されました。

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
（お問い合わせ）電話（フリーダイヤル）
0120-263-323

令和4年度障がい者社会参加促進等事業

○三重県障害者社会参加推進センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者相談員等研修
	身体障害者補助犬育成等事業
	声の「ふれあい」発行事業
	身体障がい者交流レクリエーション教室
	カローリング教室
	ボウリング教室
	グラウンドゴルフ教室
	ふれあい交流会(体験発表等)
	未婚障がい者出逢い支援事業
視覚障害者協会	視覚障がい者交流レクリエーション教室
	グラウンドゴルフ教室
	ボウリング教室
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	フロアバレーボール東海ブロック大会

団体名	事業名
聴覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	東海聴覚障害者体育大会
	全国ろうあ者体育大会
日本オストミー協会三重県支部	オストメイト社会適応訓練事業
肢体不自由児者父母の会	体験学習交流会開催事業
脊髄損傷者協会	脊髄損傷者理解促進事業
喉友会	音声機能障がい者発声訓練事業
	音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業
知的障害者育成会	知的障がい者交流レクリエーション事業
精神保健福祉会	精神障がい者理解促進啓発事業

団体名	事業名
難病連	難病による障がい者理解促進事業

○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者芸術文化活動普及支援事業



令和4年度 社会参加推進協議会団体 開催事業予定

開催日	団体名	場所	テーマ・内容等
6/20(月)～9/9(金)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第17回みえ福祉用具アイデアコンクール2022
7/3(日)	三重難病連	三重県鈴鹿庁舎	鈴鹿地域難病連相談会
7/11(月)	三重県知的障害者福祉協会	三重県社会福祉会館	三重県知的障害関係施設新任職員研修
7/14(木)～7/15(金)	三重県知的障害者福祉協会	東京フォーラム	全国知的障害関係施設長等会議
8月～12月	三重県知的障害者福祉協会	動画配信	三重県知的障害関係施設利用者音楽等楽しむ会
8/20(土)	三重県障害者団体連合会	四日市ドーム	グラウンドゴルフ教室
8/23(火)	三重県知的障害者福祉協会	北海道	全国知的障害関係施設グループホーム等研修会
8/28(日)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第25回三重県障がい者スポーツ大会「サウンドテーブルテニス」
9/4(日)	三重難病連	三重県伊賀庁舎	伊賀地域難病連相談会
9/4(日)～9/5(月)	三重県障害者団体連合会	サンペルラ志摩	障がい者ふれあい交流会
9/21(水)	三重県障害者団体連合会	県人権センター	三重県障がい者相談員等研修会
9/25(日)	三重県障害者団体連合会	三重中央自動車学校	自動車安全運転競技会
10月	三重県知的障害者福祉協会	三重県社会福祉会館予定	三重県知的障害関係施設インボイス制度研修
10月	三重県精神保健福祉会	津市(県庁舎)	家族研修会
10月～11月	三重県知的障害者福祉協会	三重県身体障害者総合福祉センターグラウンド予定	三重県知的障害関係施設利用者モルック大会
10/1(土)	三重県障害者団体連合会	県営鈴鹿スポーツガーデン	カローリング教室
10/4(火)～10/5(水)	三重県知的障害者福祉協会	ホテル&リゾート伊勢志摩	東海地区知的障害関係施設長等研究協議会

開催日	団体名	場所	テーマ・内容等
10/6(木)～10/9(日)	三重県障害者団体連合会	東長島公民館(紀北町)	地域巡回展 (受賞作品と地域の施設等共同作品展)
10/8(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	第25回三重県障がい者スポーツ大会 「陸上競技」
10/10(月)祝	三重難病連	桑名メディアライヴ	桑名地域難病相談会
10/12(水)～10/18(火)	三重県障害者団体連合会	三重県人権センター	地域巡回展 (受賞作品と地域の施設等共同作品展)
10/17(月)～10/18(火)	三重県知的障害者福祉協会	ロアジュールホテル豊橋	東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会
10/20(木)～10/21(金)	三重県障害者団体連合会	富山県	第24回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会
10/23(日) 2/26(日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合福祉センター	出会い支援事業(結婚相談)
10/29(土)	三重県障害者団体連合会	ハートフルみくも	防災研修
11月	三重県精神保健福祉会	広島県	みんなねっと全国研修会
11/6(日)	三重難病連	三重県熊野庁舎	熊野地域難病相談会
11/11(金) 予定	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	みえ福祉用具フォーラム2022
11/12(土)	三重県障害者団体連合会	津グランドボウル	ボウリング教室
11/12(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	ハートフルみくもスポーツ文化センター	第25回三重県障がい者スポーツ大会 「バレーボール」精神障害の部
11/14(月)～11/15(火)	三重県精神保健福祉会	四日市市(文化会館)	三重県精神保健福祉研修会 (兼:甲州・東海B研修会)
11/20(日)	三重県障害者団体連合会	M'AXA(松阪マクサ)	スペシャルズGO!GO!!
11/24(木)～11/25(金)	三重県知的障害者福祉協会	岩手県	全国知的障害関係児童発達支援施設運営協議会
11/27(日)	三重県障害者団体連合会	津市白山しらさぎホール	第68回三重県身体障害者福祉大会
12/1(木)～12/2(金)	三重県知的障害者福祉協会	鳥取県	全国知的障害関係施設日中活動支援部会全国大会
12/3(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	津グランドボウル	第25回三重県障がい者スポーツ大会 「ボウリング」
12/17(土)～12/19(月)	三重県障害者団体連合会	桑名メディアライヴ	地域巡回展 (受賞作品と地域の施設等共同作品展)
12/23(金)～12/24(土)	三重県障害者団体連合会	四日市市文化会館	三重県障がい者芸術文化祭
1月	三重県精神保健福祉会	津市(県庁舎)	家族研修会
1/26(木)～1/27(金)	三重県知的障害者福祉協会	大阪府	全国知的障害者支援施設部会全国大会
1/28(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合福祉センター	第25回三重県障がい者スポーツ大会 「卓球」(一般卓球)
1/29(日)～2/4(土)	三重県障害者団体連合会	久居アルスプラザ	みえアールブリュット2023(受賞作品)
2月	三重県精神保健福祉会	津市又は四日市市	家族相談スキルアップ研修会
2/9(木)～2/12(日)	三重県障害者団体連合会	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	みえアールブリュット2023(受賞作品)
2/18(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	第25回三重県障がい者スポーツ大会 「ボッチャ」
毎週火・木	三重難病連		疾患別相談

三重県障がい者相談員等研修会開催

目的 障がい者の社会参加と自立促進を目指す中で、障がい者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題等の情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日時 令和4年9月21日(水)
受付12時45分
開会13時15分 閉会16時00分

会場 三重県人権センター 多目的ホール
〒514-0113 津市一身田大古曾693-1

参加者 ①身体・知的・精神障害者相談員
②県、市町、市町社会福祉協議会等の相談業務担当職員等
③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
④障がい者、支援者等

参加人員 100名程度

参加申込 参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送又はFAX送信

申込期限 令和4年8月31日(水)(期限厳守)

研修内容 内容は未定(後日、開催案内でお知らせします)

【事務局・お問合せ】 公益社団法人 三重県障害者団体連合会
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 三重県身体障害者総合福祉センター内
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

三重県障がい者芸術文化活動支援センター 研修事業

アートはみんなのために! ~楽しさ追求の果てを夢みて~

日時 令和4年10月16日(日) 受付12時30分
開会13時 閉会15時30分
※意見交換会開催予定

場所 三重県人権センター
〒514-0113 津市一身田大古曾693-1

参加者 障がい者の芸術文化活動に興味を持つ方

講師 特定非営利活動法人 希望の園
理事長 村林 真哉氏

出演 希望の園のアーティスト、スタッフのみなさん 他

【事務局・お問合せ】 三重県障がい者芸術文化活動支援センター(公益社団法人 三重県障害者団体連合会)
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 三重県身体障害者総合福祉センター内
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail: info@mie-asc.jp

令和3年度文化庁長官表彰

坂 哲 雄 (鈴鹿市身体障害者福祉協会 会長)

「永年にわたり、染織製作技術者として、伊勢型紙の製作に携わるとともに、重要無形文化財「伊勢型紙」の保存及び伝承者の養成に尽力し、我が国の文化財保護に多大な貢献をしている。」とこれまでの功績が評価された。

第24回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日時 令和4年10月20日(木)~21日(金)
14時開会(受付13時から)

会場 富山県黒部市宇奈月温泉

第68回三重県身体障害者福祉大会

日時 令和4年11月27日(日)(受付9時30分から)
式典 10時30分~11時30分
郷土芸能 11時30分~12時00分

会場 津市白山総合文化センター しらさぎホール

市町別手帳交付者数

(令和4年4月1日現在) (単位:人)

市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳	市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳
桑名市	4,386	1,148	1,566	伊勢市	5,003	990	1,047
いなべ市	1,522	407	315	鳥羽市	1,092	185	122
東員町	818	201	154	志摩市	2,300	365	432
木曾岬町	210	48	43	玉城町	660	144	80
四日市市	9,805	2,619	3,076	度会町	379	64	48
川越町	356	107	136	大紀町	500	79	55
朝日町	243	75	75	南伊勢町	1,038	139	93
菰野町	1,339	397	305	伊賀市	4,192	910	767
鈴鹿市	6,916	1,830	1,641	名張市	3,371	813	897
亀山市	1,784	423	380	熊野市	854	214	166
津市	10,652	2,594	3,002	尾鷲市	1,094	171	124
松阪市	6,300	1,465	1,504	紀北町	823	168	107
多気町	573	150	87	御浜町	397	96	52
大台町	424	89	44	紀宝町	480	98	80
明和町	936	192	161	その他	278		
				県合計	68,725	16,181	16,559